

平成31年(2019年)4月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	2019年4月 数量 (トン)	2019年4月 平均単価 (円)	前年同月比 (数量)	前年同月比 (平均単価)
1	生 鮮	まぐろ (本まぐろ)	前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価は下がりました。	23	2,214	135%	86%
2		めばち	東南アジア方面からの入荷が無く、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価は上がりました。	3	1,750	57%	112%
3		はまち	浜値は高くなりました。前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価は上がりました。	15	1,175	148%	111%
4		あじ	九州方面中心の入荷となりました。前年と比べ取扱数量・平均単価ともやや上がりました。	71	472	105%	104%
5		いか	山陰方面中心の入荷となりました。不漁のため前年と比べ取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	27	1,033	71%	130%
6		かつお	鹿児島・千葉中心の水揚げとなりました。勝浦の不漁もあり、取扱数量はかなり減少、平均単価は上がりました。	35	728	62%	116%
7	冷 凍	めばち	取扱数量は前年並み、平均単価はやや上がりました。	60	1,280	99%	106%
8		いか	八戸産が主体となりました。前年と比べ、取扱数量・平均単価ともやや上がりました。	19	1,009	103%	103%
9		さけます	前年と比べ、取扱数量はやや減少、平均単価は上がりました。	66	1,031	93%	112%
10	加 工	さけます	前年と比べ、取扱数量は銀サケが増加、紅サケが減少しました。全体では、取扱数量・平均単価ともやや上がりました。	77	1,143	110%	103%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上